

新しい家族
タラッパンのための
基礎教材

新しい家族
タラッパンのための
基礎教材

新新しい生活

「あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。
それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。」

(ピリピ人への手紙 2:5)

柳光洙 牧師



Japanese version (일본어)

1 基礎

- ①福音の手紙
- ②新しいおのち新しい生活
- ③新しい家族に向かった神様の計画
- ④一般信徒が読む伝道訓練教材
- ⑤救い論

2 養育

- ①E.B.S個人養育
- ②正しいキリスト者の生活
- ③祈りの答え、
どのように受けけるのでしょうか
④伝道訓練1
- ⑤使徒の動き
- ⑥出エジプト記講解1
- ⑦契約の礼拝(レビ記)

現場福音メッセージ

3 訓練

- ①福音の手紙
- ②使徒の働き
- ③E.B.S基礎訓練
- ④伝道訓練2-1
- ⑤エベソ人への手紙
- ⑥伝道学(キャンプ時代)

5 派遣

- ①派遣伝道、委託伝道
- ②伝道訓練2-2
- ③重職者訓練
- ④専門教会訓練

4 使命

- ①使命者ガイド
- ②地域福音化のためのタラッパン伝道戦略
- ③出エジプト記講解2
- ④専門教会訓練

Japanese version (일본어)

第一課 救いの道	4
第二課 この方以外には、だれによつても救いはありません	6
第三課 天の国籍の観察	8
第四課 生まれ変わった証拠	10
第五課 苦しみはどのように解決するのか	12
第六課 灵的問題について正しく知ろう	14
第七課 新しい葛藤に挑戦しよう	16
第八課 祈りの生活	18
第九課 イエス・キリストの教会	20
第十課 祈りは靈的な科学	22
第11課 礼拝の生活	24
第12課 みことばにとどまる生き方	26
第13課 学んだことを確信しよう	28
第14課 靈的いやし	30
第15課 心のいやし	31
第16課 生活のいやし	32
第17課 精神のいやし	33
第18課 肉体のいやし	34
第19課 幸せな家族	35
第20課 家族のいやし	36

新しいのち新しい生活

第1版 30刷 印刷2012年9月19日
 改訂版 1刷 印刷2014年7月18日
 著者 柳光洙
 発行所 社団法人世界福音化伝道協会
 住所 ソウル市江西区空港大路478(登村2洞、宣教ビル)
 Tel. 02)3662-7561
 Fax. 02)3662-7149
 Web. www.wedarak.net

●この出版物の著作権は社団法人世界福音化伝道協会にあります。
 したがつて無断転載と無断複製は禁じられています。
 乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

救いの道

ヨハネ14:6 イエスは僕に言われた。「わたしが誰であり、真理であり、いのちのものです。わたしを通してなければ、だれひとり父のみもどに来ることはできません。」

6. どのようにすれば救われるのか

- (1) ヨハネ1:12
- (2) ローマ10:9～10

7. いつ救われるべきなのか

*イエス様を今日受け入れましょう。お祈りにすることによって受け入れることができます。

8. イエス様を受け入れたあなたは、次の事実を確認しましょう。

- (1) ヨハネ5:11～13 慶いの福音
- (2) いつも覚えているべき聖書箇所
 - ①ローマ8:2
 - ②ヨハネ14:16
 - ③コリント3:16
 - ④ヨハネ14:26～17

3. 死、裁きと地獄が待っている→ペブル9:27、黙示14:10～11

4. 人間は、この問題を解決しようと努力した

- (1) 宗教一使徒4:12
- (2) 哲学一コロサイ2:8
- (3) 善行一イザヤ64:4

5. 神様だけがこの問題を解決することができます。

それで、神様は人間に相談することなく、自らイエス・キリストを送ることを決められた。

- (1) ローマ5:8
- (2) ヨハネ3:16
- (3) コリント15:3～4
- (4) ヨハネ3:8
- (5) ヨハネ14:6

1. 本来の人間→創世記1:27～28

2. 問題→ローマ3:23、創世記3:1～6、16～20、ヨハネ8:44
その結果、苦しみ、心配、思い煩い、ねたみ、争い、死が人生にやってくるようになり、悪魔に支配されるようになつた

9. 覚えるべき事

- (1) 教会に行って、聖書の学びに参加しましょう
- (2) 礼拝に参加しましょう
- (3) 祈れば神様が答えてくださいます
- (4) 信じたいけれど、どうしたら良いのか分からぬ人を連れてきましょう

使徒4:12「この方以外には、だれによつても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていないからです。」

この方以外には、だれによつても 救いはありません

4.どのようにすれば救われるのでしょうか

- (1) ヨハネ1:12
- (2) ローマ10:9~10

5.いつ救われるべきでしょうか 箱言27:1

※今、イエス様を受け入れませんか。
祈りによって、イエス様を救い主として受け入れることができます。

「愛する神様。あなたの驚く愛と、完全な救いの計画に感謝します。今は私が罪人だということを知り、あなたの前に私の罪を告白します。私の心を開きます。どうぞ、私を救ってくださる主として、私の心に来てください。私の罪を赦して、救ってくださったことを感謝します。これからは、あなたのみこころに従つて生きることができますように助け、導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。」

1. 本来の人間

神様 創世記1:27~28

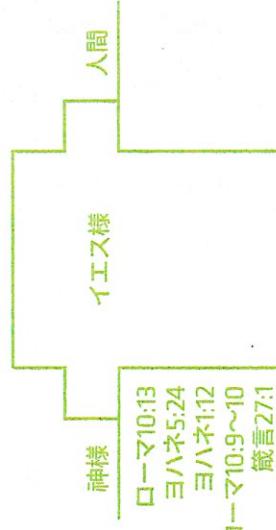
人間

2. 問題

*あなたはどこに属していますか



*あなたはどこに属したいですか



3. 神様だけがこのような問題を解決することができます

*あなたはどこに属したいですか

ビリビヨ20けれども、私たちの靈魂は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。

天の戸籍の覗覧

5. 神の子ども

イエスを救い主として受け入れる者は、神の子どもとなり、天の国籍を与えてられ、天の戸籍である、いのちの書に名前が記される。

- (1) ヨハネ 1:12
- (2) ピリピ 3:20
- (3) ルカ 10:20

6. 自分の名前がいのちの書に記されていることを知っていた人々

- (1) モーゼ出32:32
- (2) ダビデ詩篇 69:28
- (3) ダニエルダニエル 12:1
- (4) マラキマラキ 3:16
- (5) イエスルカ10:20
- (6) 使徒パウロヒリビ4:5
- (7) 使徒ヨハネ黙示3:5

1. なぜイエスを信じるのでしようか—エペテロ1:9

2. 救いの意味

救いとは、私たち自身では解決できない根本問題から解放されることです。

- (1) 過去の問題の解決エヘソ2:1
- (2) 現在の問題の解決エヘソ2:2
- (3) 未来の問題の解決エヘソ2:6

3. キリスト教の福音

キリスト教の福音とは、イエス・キリストが死に、人間の罪、死、悪魔のしわざという根本問題を解決して復活されたという良い知らせです。
【コリント15:1～4】

- (1) 福音の内容—キリストの死と復活
- (2) キリストの死—人間の死の問題のためのががない
- (3) キリストの復活—人間の死の問題を解決して、悪魔の力を打ちこわされた

4. 救いの道

- 救いの福音を聞き、イエスを自分の救い主として信じ受け入れること
- (1) ヨハネ 5:24
- (2) ヨハネ 1:12
- (3) エペソ 2:8

私は自分の罪と不信仰を神様の前で告白し、イエス様を私の救い主として受け入れたことによって、救われたという事実を確認します。

- (1) 私は私が救われた神様の子どもであることを信じます
- (2) 肉体はこの世に住んでいますが、私の靈はすでに天の市民になったことを知っています

(3) 私の名前は、天の戸籍であるいのちの書に記されています

【ヨハネ 5:1-13】イエスがキリストであると信じる者はたれども、神によつて生まられたのです。生んでくださった方を愛する者ははれども、その方によつて生まれた者をも愛します。(1)

生まれ変わった証拠

イエス様を中心とする心で信じ、口で告白した瞬間、神様は聖靈を通して、私たちの中に新しい永遠のいいちを創造してくださいます。これが、神の子どもとして生まれ変わった靈的な事件です。これは、目で見ることも、肌で感じることもできませんが、イエス様を救い主として受け入れよう。心で信じて口で告白するなら、永遠のいのちが与えられ、生まれ変わった証拠を体験するようになります。

- (6) 信仰によって世界に勝つようになる **【ヨハネ 5:4】**
- (7) キリスト中心の生活をするようになる **【ガラテヤ 2:20】**

このような生き方は、一夜にしてできるものではない。聖靈の働きによつて、少しづつ変化していく。生まれ変わった人には、必ず変化が起きる。

もし自分の生活に何の変化もないならば、救いを再確認しよう。救いを経験していないかったり、救いの確信がないなら、今、イエス・キリストを受け入れよう。心で信じて口で告白するなら、永遠のいのちが与えられ、生まれ変わった証拠を体験するようになる。

1. 生まれ変わった結果

- (1) 新しいいのちが与えられる **【ヨハネ 5:24】**
- (2) 新しい心が与えられる **【エセキエル 11:19】**
- (3) 新しい父親が与えられる **【ローマ 8:14-15】**
- (4) 新しい兄弟姉妹が与えられる **【コリント 15:20】**
- (5) 新しい被造物になる **【コリント 5:17】**
- (6) 新しい靈的な理解ができるようになる **【ヨハネ 14:26】**
- (7) 新しい道徳的な品性が生まれる **【ヨハネ 2:29】**
- (8) 天国の戸籍に名前が記される **【黙示 3:5】**
- (9) 新しい賛美を歌えるようになる **【黙示 5:9】**

2. 生まれ変わった証拠

- 1) 灵的な兄弟姉妹を愛するようになる **【ヨハネ 5:1】**
- 2) 神様のみことばに喜んで従うようになる **【ヨハネ 5:2~3】**
- 3) 救いの確信を持つようになる **【ヨハネ 5:6~13】**
- (1) 外的な証拠—みことばの証拠
- (2) 内的な証拠—聖靈の証拠
- 4) 祈りの答えの確信を持つようになる **【ヨハネ 5:14~15】**
- 5) 聖なる生き方をしようとする **【ヨハネ 5:16】**

1) ペテロ 5:7-11 もあなたがいたいの想い頼いを、いつさい神にむだれなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。(7)

苦しみはどうに角が決するのか

すべての人が、それぞれに苦しみを持っている。しかし、本来の人間は、まことの永遠の幸せを味わうようにならなければならぬ。人間は、罪を犯して、神様から離れたとたんに、永遠の苦しみに陥るようになつた。神様は、信徒が苦しむことを願つておられない。あなたの問題は、どのように解決すべきなのだろうか。



1. 人間の苦しみはいつから始まり、いつ終わるのか

- 1) 創世記 3:1-6、16-20
- 2) ルカ 16:19-31

2. なぜ始まつたのか

- 1) 創世記 3:1-6
- 2) ヨハネ 8:44
- 3) エペソ 2:1-2
- 4) 使徒 10:38

3. どうしたら解決するのか

- 1) ヨハネ 3:8
- 2) ヨハネ 14:6
- 3) ペテロ 10:45

4. あなたの苦しみはどうなつたのか

- 1) イザヤ 53:5-6
- 2) マタイ 8:15-17
- 3) イエスを受け入れて、神の子どもにもなつたので、苦しみはもはやあなたのものではない

苦しみはどうに解決するのか

【ペテロ5:7】あなたがたの意いを、いつさい神にねたねなさい。神があなたがたのことを心配してくれたさるからです。(7)

5. これからどのように始めれば良いのか

- 1) ペテロ5:7
- 2) ガラテヤ2:20
- 3) ヨハネ2:1~11



すべての人が、それ自身に苦しみを持っている。しかし、本来の人間は、まことの永遠の幸せを味わうように創造された。人間は、罪を犯して、神様から離れたとどんに、永遠の苦しみに陥るようになった。神様は、信徒が苦しむことを願つておられない。あなたの問題は、どのように解決すべきなのだろうか。

1. 人間の苦しみはいつから始まり、いつ終わるのか

- 1) 創世記3:1~6、16~20
- 2) ルカ16:19~31

2. なぜ始まつたのか

- 1) 創世記3:1~6
- 2) ヨハネ8:44
- 3) エペソ2:1~2
- 4) 使徒10:38

3. どうしたら解決するのか

- 1) ヨハネ3:8
- 2) ヨハネ14:6
- 3) ペテロ10:45

4. あなたの苦しみはどうなつたのか

- 1) イザヤ53:5~6
- 2) マタイ8:15~17
- 3) イエスを受け入れて、神の子どもにもなつたので、苦しみはもはやあなたのものではない

1) ベテロ 5:7-8 あなたがたの思ひ擣いを、いつさい神にすだねなさい。神が読むたがたのことを心配してくださるからです。身を摸み、目をさましていなさい。
あなたがたの敵である魔魔が、ほえたける獅子のように、食ひ尽くすべきものを獲し求めるから、歩き回っています。

靈的問題について正しく知ろう

- 7) 食い尽くすべきものを獲し求めるながら、ほえたけるししのよう歩き回っている。ベテロ 5:7-8
- 8) 思いをくらませる コリント 4:4
- 9) 心と体を押さえ込んで、病をもたらすマルコ 9:17-18、ルカ 13:16
- 10) 会衆がある顯示 2:9

5. 悪魔と戦って勝つために

- 1) 神の武具を身につけよう エペソ 6:11-17
- 2) どんな時も御靈によって祈ろう エペソ 6:18
- 3) 伝道伝道は悪魔の力を碎く、マタイ 16:18

* 伝道の3つの祝福

- ① 世界を征服する マタイ 16:18
- ② 悪魔の力に勝つ マタイ 16:18
- ③ 祈りの答えを受ける マタイ 16:19

1. クリストチャンには敵がいる

- 1) ベテロ 5:8
- 2) マタイ 25:41

2. その名前は

- 1) 悪魔、サタン
- 2) 悪靈、惑わす靈 偽りの靈

3. いつ現れたのか

- 1) 反いた御使いエゼキエル 28:14-19、イサヤ 14:12-15
- 2) 空中に追い出されたエヘソ 2:2
- 3) この世に追い出され、今は人間を滅ぼしている 顯示 12:4、7-9
- 4) 最後に地獄に行く マタイ 25:41

4. サタンのしわざ

- 1) アダムとエバを蛇を通して誘惑した創世記 3:1-5
- 2) 策略を用いる エペソ 6:11
- 3) 主権、力、やみの力を支配している エヘソ 6:12
- 4) すべてを成した後に倒れるようにさせる エヘソ 6:13
- 5) 火矢を射る エペソ 6:16
- 6) 光の天使に変装する コリント 11:14

ヨリビ 4:6-7 向も思いはれないで、走らせる場合に、感謝をもつてささげる祈りと
願いによって、あなたがたの願い事を神に知りていただきたいと思ひをキリスト・イエスに
あつて写ってくれます。

新しい葛藤に挑戦しよう

エジプトで奴隸だったイスラエルの民が、エジプトから出て紅海を渡ったときに、すべてのエジプトでの苦しみは終わった。彼らは、もうエジプトでの過去の苦しみに悩む必要はない。しかし、彼らは新しい困難になってしまった。それは、彼らが約束の地、カナンに行かなければならなかったからだ。その地で祝福を味わうために、彼らは訓練のために新しい困難を受けなければならなかったのだ。同じように、私たちも、信仰によって困難に耐え、うち勝たなければならない。クリスチャンになつた後、私たちは新しい葛藤から生じる新しい困難に出会うようになる。そのような新しい葛藤に信仰で挑戦すべきである。

4. 信徒の生き方

- 1) どんな時も、祈つて聖霊の導きを受ける **使徒 13:1-4**
 - 2) 心配せずに祈る心配の種は祈りの課題 **ヨハネ 4:6-7**
 - 3) 神様のみことばに従つて祈る **ヨハネ 15:7**
 - 4) 御名によつて求めて答えを受ける時に、喜びに満たされるようになる **ヨハネ 16:23-24**
- *祈りは霊的な科学である

1. 新しい葛藤

- 1) 家族
- 2) 仕事
- 3) 人間関係

2. 信徒の実体

- 1) 御霊の原理がともにローマ 8:2
- 2) 聖霊が永遠に内に住んでおられる **ヨハネ 14:16**
- 3) 神様の平安が与えられる **ヨハネ 14:26-27**
- 4) 聖霊の神殿になる **ヨコリント 3:16**
- 5) 聖なる事実を理解できるようになる **ヨコリント 2:10-12**
- 6) すべてのことを動かせて益としてくださる **ローマ 8:28**

3. 問題の解決—神様がともにおられる

- 1) 助け主、聖霊がともにおられる **ヨハネ 16:7**
- 2) 聖霊によつて尊かれ、聖霊によって生きる **ガラテヤ 5:16-18**
- 3) 油を注がれた者 **聖霊に満たされた者** すべてを教えてくださる **ヨハネ 2:20-27**

ビリビ 4:6~7) 何も悪い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもつてささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

祈りの生活

4. どうすれば確信ある祈りができるのか

- 神様は、私たちに偉大な信仰を求めておられない。
ただ、偉大な神様を信じる信仰を持つべきである。
- 1) みことばのうちに留まるヨハネ15:7
 - 2) 御名によつて求めるヨハネ14:14、16:24
 - 3) 信仰をもつて求めるマタイ21:22

祈りは、神様との会話である。神様の子どもとして、私たちは大胆に恵みの御座に近づくことができる。祈りを通して、私たちは考え方を神様にうち明けることができ、神様の力を体験し、靈的な戦いに勝利し、神様のみこころを成し遂げることができる。だから、キリストによって神様の子どもになった者だけが、まことの祈りをささげることができるのである。

1. なぜ祈るべきか

- 1) 神様と交わるため
- 2) 神様に栄光を帰すためヨハネ14:13
- 3) 犯的に成長するため
- 4) 神様のご計画を成就するため
- 5) 私たちの願いを知つていただきためビリビ 4:6~7/4:6~7

2. いつ祈るべきか

- 1) 絶えず祈る姿勢が必要 I テサロニケ 5:17
- 2) 毎日、祈る時間を定めるダニエル6:10、使徒3:1
- 3) 集まって祈るマタイ 18:19~20

3. 祈りの内容 - 何を祈るべきか

指には5本あるように、祈りには5つの要素がある。
これを指針とすれば、バランスのとれた祈りの生活ができるだろう。

- 1) 贊美 - 歴代 29:10~11
- 2) 告白 - ヨハネ1:9、詩篇 32:5
- 3) 感謝 - エペソ 5:20、詩篇 100:4 感謝できないと思うことも感謝する
- 4) とりなし - エベソ 6:18、コロサイ 4:2~4、ヤコブ 5:16、 I テモテ 2:2
- 5) 願い - マタイ 7:7~8、ヨハネ 15:7

エペソ 4:13-16 | むしろ、愛をもつて眞理を語り、あらゆる点において成長し、からなるキリストに達することができるためなのです。キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分がその力量にふさわしく働く力により、また、備えられたあらゆる経験によって、しっかりと組み合わされ、結び合われ、成長して、愛めうちに達されるのです。

イエス・キリストの教会

イエス様を信じ告白して受け入れたら、神の子どもになり、キリストのからだである教会の一員となる。神様は、私たちが信徒の集いのメンバーとして、靈的な生き方が成長して、キリストの体の教会を建て上げることを願っておられる。

1. 教会の意味

人々、教会とは、建物や組織を意味するのではなく、神様が選ばれた人々の集まりを意味するものである。

1) 教会はイエスによって建てられる **マタイ 16:18**

2) イエス・キリストの教会

(1) 全体的な、目に見えない教会 - 頭なるキリストによって結び合われる教会 **エペソ 1:22-23**

(2) 地方の教会 - 一定の地域にいる信徒の集まり **使徒 11:25-26、ガラテヤ 1:2-3**

(3) 家の教会 - 家での信徒の集まり、特に初代教会の時に迫害によって **コロント 16:19、コロサイ 4:15**

2. 教会の役割

1) 灵的な構造：クリスチヤン＝生まれたままの人間 + 聖霊
キリストの教会 = 集まり + 聖霊

2) 教会の4つの役割：礼拝、伝道、養育、奉仕

(1) 礼拝 - 教会が集まる一番重要な理由は、神様の恵みによって救われた人々がともに礼拝をささげることができるために **ローマ 12:1、ヨハネ 4:24、マタイ 22:37-38**

(2) 伝道 - 教会は、集まって礼拝することと、世に出て行つて福音を宣べ伝える2つの役割を果たすべきである

① 神様の救いの方法によっての伝道 **コリント 1:21**

- ② 主の大命令 **マタイ 28:19-20**
- ③ しなければならないこと **コリント 9:16**
- (3) 養育 - 教会は、新しい信徒が成長して豊かになるように、養育すべきである **エーモン 4:12-13、ローマ 12:6-8、エペソ 4:12**
- (4) 奉仕 - 教会は、新しい信徒が豊かに成長して、奉仕できる者になるように養育し教えるべきである **ガラテヤ 6:9-10**
 - ① キリストの働き人 **コリント 4:1**
 - ② イエス様の手本 **ヨハネ 13:14**
 - ③ 仕えるしもべ **ペテロ 4:10**

3. 教会の使命

- イエス・キリストの教会は、まかされた使命を成し遂げるべきである
- 1) 真理の見張り人 **エーモン 3:15**
 - 2) キリストの代わり **マタイ 25:40**
 - 3) 世界福音化 **ヨハネ 20:21、マルコ 16:15**

エレミヤ 33:3 わたしを呼べ。そうすれば、わたしは、あなたに答え、あなたの知らない、理解を超えた大きいなる事を、あなたに告げよう。

祈りは霊的な科学

1. 祈りについての約束

- 1) マタイ 21:21~22
- 2) ルカ 11:13
- 3) ルカ 18:7~8
- 4) ヨハネ 14:13~14
- 5) ヨハネ 15:7
- 6) ヨハネ 15:16
- 7) ヨハネ 16:23~24

2. 祈りは霊的な科学

1) 祈ると、聖靈が臨まれる

- (1) ルカ 11:13
- (2) 使徒 1:14、2:1~4、4:29~31、13:1~4、16:6、16:14

2) 祈ると主の使い、(天使) が動員される

- (1) ヘブル 1:14
- (2) マタイ 18:10
- (3) 使徒 12:1~10
- (4) 使徒 27:22~24

3) 祈ると不信仰が消える

- (1) 心と思いを守られる ヒリピ 4:6~7
- (2) 失望しないで祈り続けよう ルカ 18:1~8
- (3) 悪魔の力、不信仰の元が崩される マタイ 12:28~29

4) 祈ると必ず答えられる

- (1) ヤコブ 1:5~8
- (2) ピリピ 4:7

3. どのように祈るべきか

1) 祈りの課題を定めて

- (1) マタイ 7:7~8
- (2) ルカ 18:1~8
- 2) 定めた時に
 - (1) ダニエル 6:10
 - (2) 使徒 3:1
 - (3) 使徒 16:13、16:23~31
 - 3) 定めた場所で
 - (1) 使徒 1:12~14
 - (2) 使徒 12:1~19
 - 4) 他の祈りの人々とともにマタイ 18:19~20

*祈りの失敗は、霊的生活の失敗をもたらすシャン・カルヴァン

ヨハネ4:24、「歷代16:29」神は盡ですから、神を礼拝する者は、靈とまことによつて礼拝しなければなりません。』

礼拝の生活

神様への礼拝は、クリスチヤン生活において一番重要な部分である。
それは、被造物である人間が、創造主である三位一体の神様を礼拝することである。

4. 礼拝の種類

- 1) 公の礼拝 - 信徒の集いが集まつてささげる公式礼拝
 - (1) 日曜の朝の礼拝
 - (2) 日曜の夕方の礼拝
 - (3) 水曜の夜の礼拝
- 2) 他の礼拝—公の礼拝以外の礼拝：家庭、小グループ、祈祷会、徹夜祈り会など

1. 礼拝の対象

- 1) 今でも、多くの人々は、いのちのない木や石で偶像を造つて拝んでいる。また、お金、権力、科学など、この世の偶像に仕えている。しかし、それらは、単に神様の創造の一部にすぎない。
- 2) 礼拝の対象となるものはいったい何なのか

- (1) 黙示4:8
- (2) 默示4:11
- (3) 默示5:9、12-13

2. 礼拝の正しい姿勢

礼拝とは、聖なる真美な神様に私たちの心思いを直接、集中させることである。神様は眞の礼拝をささげる者を祝福してくださいるヨハネ14:20-24、伝道5:1-2

3. 礼拝の内容- 重要な四つの要素がある

- (1) 賛美 ヘブル13:15
賛美のいきにえー感謝、悔い改め、祈り、証しを歌によって表現すること
- 2) 祈り 默示5:6、黙示8:3-4
金の香炉—感謝、告白、願い、とりなしを言葉で表現すること
- 3) 聖書詩篇など、ネヘミヤ8:5-9
神様のことばを集中して聞き、私たちの意志を従わせるようにすること
- 4) 献金 伝道3:9-10、マタイ6:21、マラキ3:10-12

みことばにどどまる 生き方

イペテロ2:21生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、そこにはの乳を慕い求めなさい。それによって成長し、教いを得るためです。

- 1) 救いの知識
- 2) 正しい真理
- 3) 聖なる生き方
- 4) 靈的に成熟
- 5) 伝道に力

聖書は神様のみことばで、40人も別の別々の著者が、神様の靈感によつて1500年以上かかって書いたものである。聖書が書かれた目的は、教育や学問の道具にするためではなく、神様の教いを明らかにし、神様とともに歩む生き方にについて導くためである。

1. 聖書は、靈的な糧である

- 1) 1ペテロ 2:2
- 2) マタイ 4:4

2. 聖書は神様のみことばである

- 1) 神の靈による神の息、エテモテ 3:15
- 2) だから、一貫性があるイサヤ 34:16

*聖書は、聖典として66巻であり、旧約聖書39巻、新約聖書27巻からなっている

3. 聖書の概略

- 1) 宇宙と人間の創造
- 2) 不信仰によって神様に従わはず、墮落した人間
- 3) 墓落した人間に神様ご自身を現すためにアブラハムを召された
- 4) イスラエルと契約を結び、その歴史によって神様が語られる
- 5) イエスを通して神様が現れしたこと、十字架によるあがない
- 6) 教会によって福音が広がり、救いのわざが続けられた
- 7) イエス様の再臨と最後の審判
- 8) 神の國の完成
- 9) なぜ聖書を読む必要があるのか

みことばにどどまる 生き方

イペテロ2:21生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、そこにはの乳を慕い求めなさい。それによって成長し、教いを得るためです。

- 1) 救いの知識
- 2) 正しい真理
- 3) 聖なる生き方
- 4) 靈的に成熟
- 5) 伝道に力

聖書は神様のみことばで、40もの別々の著者が、神様の靈感によつて1500年以上かかって書いたものである。聖書が書かれた目的は、教育や学問の道具にするためではなく、神様の教いを明らかにし、神様とともに歩む生き方にについて導くためである。

1. 聖書は、靈的な糧である

- 1) 1ペテロ 2:2
- 2) マタイ 4:4

2. 聖書は神様のみことばである

- 1) 神の靈による神の息、エテモテ 3:15
- 2) だから、一貫性があるイサヤ 34:16

*聖書は、聖典として66巻であり、旧約聖書39巻、新約聖書27巻からなっている

3. 聖書の概略

- 1) 宇宙と人間の創造
- 2) 不信仰によって神様に従わず、墮落した人間
- 3) 墓落した人間に神様ご自身を現すためにアブラハムを召された
- 4) イスラエルと契約を結び、その歴史によって神様が語られる
- 5) イエスを通して神様が現れしたこと、十字架による救いはない、
- 6) 教会によって福音が広がり、救いのわざが続けられた
- 7) イエス様の再臨と最後の審判
- 8) 神の國の完成
- 9) なぜ聖書を読む必要があるのか

学んだことを確信しよう

（14-15）

「モテモテ3月17日」そういうわけて、愛する人たち。このやうなにどこを待ち望んでいたるあなたがなですから、しみも嫌もない事として、平意をもって領刑に出られるよ。また、私たちの主の惩罚は我いでありますと考へなさい。それは、その与えられた知恵に従つて、あなたがたに福音送

- 2) 罪人のために来られるメシヤを信じれば、人間は救われるということを約束している(創世記3:15、ヨハネ8:56)

3) 新約聖書は、旧約聖書で400回以上言われているメシヤが来られたという証拠である(イサヤ7:14、マタイ1:21)

4) イエスを心に受け入れた人は、聖靈が内に住んで導かれるし約束されている(ヨハネ14:16、26、ローマ8:2)

聖書の性質

- 聖書は神様のみことば^{ハテモテ 3:16}
聖書は神様が預言者、使徒を通して人に与えられた神の靈感によるもの
で、信仰と生き方のガイドになる。

聖書は預言の本原示¹³ 聖書には、未来に起きることが正確に預言されているので、書かれていてアヒトを知らなければ 徹底的に会うようになる

- 3) 聖書は永遠に約束イサヤ40:8
神様は永遠なので、聖書にある神様の約束は、真で永遠である

(1) 聖書は私たちに与えられた神様の道 ローベrt 1:19
(2) 聖書の優越性 1コリント 2:13

4) 聖書は、この世において成就するマタイ 5:17-18

() 誰も聖書を変えることはできない。それをしようとする者はのろわれる

- 6) 聖書は私たちを正しい道に導いて、堅く立ててくれる
7) 聖書は神様の計画を明らかにし、悪魔の勢力にうち勝つ武器となる

7 聖書の内容 - 聖書の元々は何か

- 1) 人間が悪魔に誘惑されて神様を知らない罪人となった事実を警告している。その結果、すべての人間は、地獄に行くことになってしまった。

ガラテヤ 2:20 私はキリストとともに十字架につなげられました。もはや私の方が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。
いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになつた神の御子を信じる信仰によつているのです。

靈のいやし

1. 続けて失敗する理由

- 1) キリストに完全に答えを出していいから ガラテヤ 2:20
- 2) 靈的問題に捕らえられているから

- (1) 偶像崇拜の問題
- (2) 思想の問題
- (3) 宗教の問題
- (4) 教会権力の問題
- (5) 人間中心主義
- (6) 心配
- (7) ねたみ

2. どうしなければならないのか

- 1) みことばと神様の契約信仰、ヘブル4:12
- 2) ただイエス・キリストだけ嗜やみの勢力が降かれる、マタイ 17:1-8
- 3) ただ聖霊だけと世界の征服、使徒 1:8
- 4) ただ祈りだけすべてが回復、使徒 1:13-14
- 5) ただ伝道だけ神様の時刻表と答え、使徒 2:1-47

3. だまされてはならない

- 1) サタンにサタンに 8:44
- 2) 自分自身に ローマ 7:24-25
- 3) 環境に ローマ 6:6-8

2. それらを用いるなら、大きな門になる

- 1) 答えの門
- 2) 伝道の門
- 3) 伝道の方向の門

3. 自分の傷を分からなければ、悪魔の通路になる

- 1) Iペテロ 5:7-8
- 2) ピリピ 4:6-7
- 3) エペソ 4:20-27
- 4) IIコリント 4:4-5
- 5) IIテサロニケ 2:10-11

4. 感謝と神の武具を身につけよう

- 1) 感謝を理解しよう - 伝道の通路 マタイ 11:28-30
- 2) 信仰
 - (1) 神様が与えられたものーかぶと、胸当て、帶、盾、剣、靴
 - (2) 常時祈り エヘン 6:18

マタイ 11:28-30 すべて、疲れた人、靈荷を負っている人は、わたしのところに来るなさい。わたしはあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しく、へりくだつてあるから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。わたしのくびきは貢いやすく、わたしの荷は軽いからです。」

マタイ 12:25-45 | 強い人の家に入つて家財を奪い取ろうとするなら、まずその人を捕まえてしまわないで、どうしてそのようなことができるのでしょうか。そのようにして初めて、その家を略奪することもできるのです。わたしのほうでない者はわざじて逃らう者であり、わたしどともに集めない者は散らす者です。

宗教的な環境から出れば勝利する

1. 宗教的な環境から出れば勝利する

- 1) 教会権力 **ヨハネ 3:1-12**
- 2) 律法主義
- 3) 博愛主義、敬虔主義、福音より優先される熱心さ
- 4) 横溝的な考え、否定的**悲觀的**な考え方

2. 偶像崇拜の環境から出れば勝利する

- 1) 形のある偶像 **出 20:4-5**
- 2) 思想偶像 **パリサイ思想、蒙訓**
- 3) 教会権力の偶像 **福音や聖書に基づくものではなく、組織中心**
- 4) 宗教偶像 **福音よりも敬虔主義**

3. 悪魔に関わる行動から出れば勝利する

- 1) 先祖崇拜 **コリント 10:20**
- 2) お祓い
- 3) 占い、運勢、靈媒
- 4) お札、お守り
- 5) 特別なたち、写真、絵を飾つて偶像化すること

4. 環境のいやし **マタイ 12:25-45**

- 1) けんか
- 2) 争い、
- 3) むなしさ

使徒 16:16-18 | 後女はパウロと私たちのあとについて来て、「この人たちは、いと高き神のしもべたちで、救いの道をあなたがたに宣べ伝えている人たちです」と叫び続けた。幾日もこんなことをするので、國り果てたバウロは、振り返つてその靈に、「イエス・キリストの御名によつて命じる。この女から出て行け」と言った。すると即座に、靈は出て行った。

精神のいやし

精神のいやしは、もつとも普通のいやしだある。
患者本人と家族が覚えるべきいくつかのことがある。

1. 講壇からのみこばによつて続けて続けていやされるべき

- 1) ヘブル 4:12
- 2) 使徒 2:42~47
- 3) 使徒 11:19-30

2. いやしの働き人からのみこばによつて、続けていやされるべき

- 1) 使徒 13:1-12
- 2) 使徒 16:16-18
- 3) 使徒 19:8-20

3. 生活がいやされるべき

- 1) 環境 - 家族、タラッパン、ミッションホーム、専門の働き、いやしの動き
- 2) 内的なからだを整える
- 3) 祈りの生活
4. いやしを適用すべき
 - 1) 家族の中から使命者が起こさるべき
 - 2) いやしのセンターでいやされるべき
 - 3) 家族を通して家族とともにいやされるべき

5. キリストが唯一の解決策です **使徒 1:8**

マタイ 8:15-17 タ方になると、人々は悪靈につかれた者を大ぜい、みもとに連れで來た。そこで、イエスはみこぼさをもつて靈どもを追い出し、また病氣の人々をみないやされた。これは、預言者イサヤを通して言われた事が成就するためであった。「僕が私たちのわざらいを身に引き受け、私たちの病を背負った。」

肉体のいやし

1. 精霊のいたるところから始めるべき
 - 1) 問題の根本原因創世記 3:1-20
 - 2) 解決創世記 3:15
 - 3) マタイ 16:13~20
 - 4) マタイ 17:1~8
 - 5) マタイ 28:16~20
 - 6) 使徒 1:8
2. 心がいやされるべき
 - 1) マタイ マタイ 11:28-30
 - 2) 傷ヒリヒ 4:6-7
 - 3) 失敗の経験マタイ 11:28-30
 - 4) 背景マタイ 12:25-45
 - 5) 感謝が回復される時イテサロニケ 5:16-18

*過去は答える土台である。

3. 環境のいやし
 - 1) 偶像一形のある偶像、先祖崇拜、占いを取り除く
 - 2) 福音以外の考え方ビリヒ 4:6-7
 - 3) 思い煩いイペテロ 5:7-8
4. 聖霊の満たし
 - 1) 使徒 1:8
 - 2) エペソ 5:18
 - 3) 聖靈に満たされば、勝利できる。それから、医者と薬の助けを受けよう。

創世記 2:24 | それゆえ男はその父母を離れ、妻と結び合い、ふたりは一体となるのである。

幸せな家族

今日、悪魔の影響を受ける社会では、社会の基本単位は個人だと考える。しかし、個人は家族に属しているので、家族が基本単位だと考へるのが適切であろう。家族の核として、夫婦は結婚することによって、神様が造られた目的を、愛と従順で成し遂げるべきである。

1. 夫と妻は、一つのからだになる

- 1) 創世記 1:27
- 2) 創世記 2:22~24
- 3) マタイ 19:4-6
- 4) エペソ 5:22~25

2. 子ども

- 1) 出 20:12
- 2) エペソ 6:1~4
- 3) ルカ 2:40、52 - 4つの分野での成長
- (1) 肉的
- (2) 知的
- (3) 靈的
- (4) 社会的

3. 家族伝道

- 1) 祝福された家族の状態箴言 15:16-17
 - (1) 神様への畏れのうちに
 - (2) お互いに愛する
- 2) 神様は家族全員が救われることを願つておられる
 - (1) 使徒 16:31
 - (2) 創世記 7:1、13
- 3) 家族の靈的な決意ヨシュア 24:15
- 4) 救いのための家族の働き
 - (1) 使徒 10:1~2、22~24
 - (2) 使徒 16:13-15、16:31~34

* 祝福された家族は、神様を主として仕える。愛し合う幸せな家族になるように祈り、働こう。特に、救われていない家族のために毎日祈ろう。

使徒 16:31「ふたりは、「主イエスを信じない。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」と言った。

家族のいやし

1. 家族に争いが起きる

- 1) 幸せな家族にも争いはある **ヒリヒ 4:6-7**
- 2) また、解決することが難しい争いもある
 - (1) 成長してきた背景
 - (2) 環境
 - (3) 考え
 - (4) 傷
 - (5) 学び **教育**
 - (6) 失敗の経験、過去

*これらは、悪魔の道具になるので、神様の栄光が家族に現れなくなる

2. これらは霊的な問題だと知り、信仰をもっていやされよう

- 1) 創世記 3:1~20
- 2) ヨハネ 8:44
- 3) 1ペテロ 5:7~8
- 4) IIテサロニケ 2:10~11
- 5) IIコリント 4:4~5
- 6) マタイ 12:25~45
- 7) エペソ 6:10~20

*これを知り、いやされるならば、勝利することができる

3. いやされるのには、時間がかかったり、配偶者がまったくいやされないこともある。その時は、霊的な事実を知り、相手を理解して助けてあげよう。そうすれば、神様の偉大な計画と祝福がなされる。
 - 1) ホセアの家族
 - 2) ダビデ王とサウル王の娘ーダビビテは理解したので、大きな祝福を受けた
 - 3) 兄たちを理解したヨセフ **創世記 45:1-8**
 - 4) 問題を理解すれば、歴史的な答えを受けることができる **IIコリント 12:1-10**
 - 5) 自分の家族の霊的な問題に気づいて、自分自身をさげなるなら、大いなる証人の家庭となる **マタイ 12:1-45**